

原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254  
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

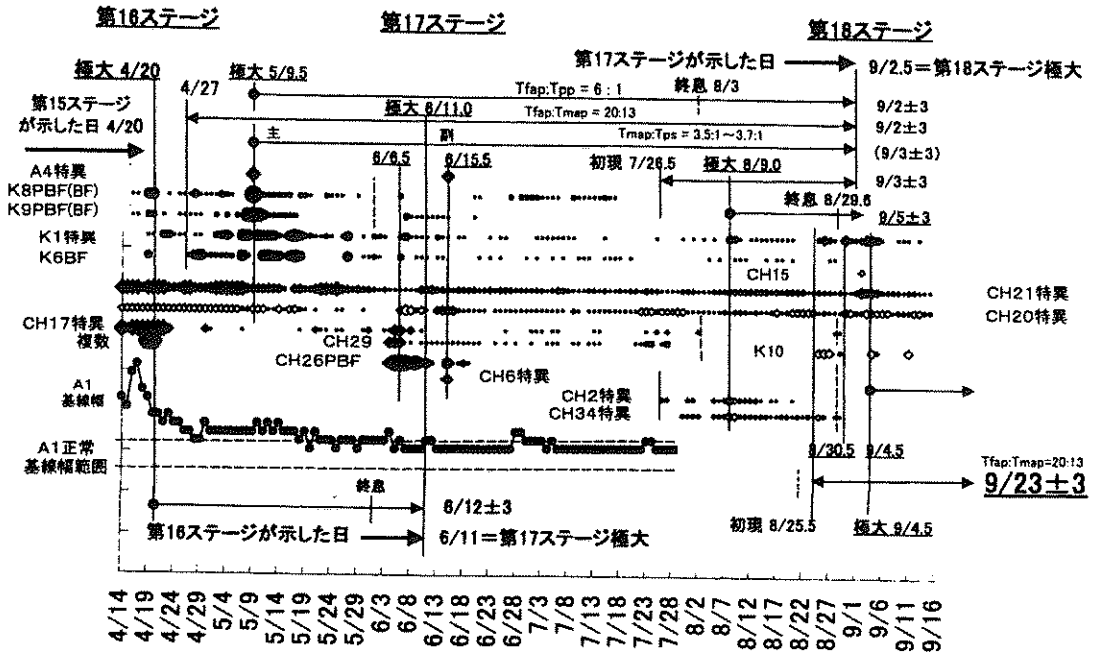
No.1778 長期継続特殊前兆 現況報告 9/15夕刻現在前兆継続→9/19以前発生は否定

【9/4.5 極大認識で計算】

下終息の場合⇒推定発生日  
9月16.3日±⇒9月20.4日  
9月17.1日±⇒9月21.4日  
9月17.8日±⇒9月22.4日  
9月18.5日±⇒9月23.3日  
9月19.3日±⇒9月24.4日  
9月20.0日±⇒9月25.3日

【9/2.5 極大認識で計算】

下終息の場合⇒推定発生日  
9月16.5日±⇒9月21.3日  
9月17.3日±⇒9月22.4日  
9月18.0日±⇒9月23.3日  
9月18.8日±⇒9月24.4日  
9月19.5日±⇒9月25.4日



No.1778長期継続前兆は最終段階である可能性が高い見解ですが、第18ステージ認識の極大 8/30.5 9/4.5 及び両極大中心の9/2.5で検討していました。8/30と9/4 が主副極大の場合は、9/21迄が誤差範囲と考えます。また中心の9/2.5 極大の場合は、9/15.8頃つまり本日9/15の19時過ぎ迄に前兆終息が誤差範囲と考えます。しかし、本日9/15の17時現在、CH20及びCH21共に特異状態前兆が継続出現中です。CH21はここ数日間に静穏基線を数時間記録するなど、前兆は静穏傾向ではありますが、あと2時間程で前兆終息となることは考えにくいので、8/30・9/4 の中心9/2 極大認識及び、主副極大認識は誤りである可能性が高くなりました。

従って、前々回報告致しました、9/4.5 極大に対しての前兆終息で発生時期を推定したいと考えます。

初現が8/25.5ではなく、8/22～8/25期間であった場合の可能性も考え、上には9/4.5 極大の場合と 9/2.5 極大の場合の、各々の前兆終息時期と推定発生時期を計算して参考に掲載致しました。

現状少なくとも、09月19日以前に対応地震が発生する可能性は否定できます。

また、推定領域図も明確な PBF・振動型BFからの作図で、影響局誤認の場合の可能性も含めあらためて掲載致しました。ほぼ変わりませんが、飯田局影響前兆は新島局の可能性も否定できないため、岐阜領域を広く含めます。近傍火山は「白山・御嶽山・乗鞍岳・焼岳」等があります。

| 前兆CH | 【A領域推定影響局】     | 【B領域推定影響局】    |
|------|----------------|---------------|
| CH08 | 伊豆100w         | 伊豆100w        |
| CH15 | 新島100w         | 宮古100w        |
| CH16 | 新居浜100w        | 飯田100w        |
| CH20 | 日和佐100w        | 飯田100w        |
| CH23 | 伊豆100w・新居浜100w | 伊豆100w・函館250w |
| CH32 | 勝浦100w         | 勝浦100w        |

※上表影響局はM7.5以上を示す明確な PBF・振動型BF前兆から、推定領域として辻褄が合う局を推定。B領域は、上表以外の前兆で調和しないものも有、可能性は極めて考えにくい、PBFの向きや影響局誤認の場合を考え参考記載。

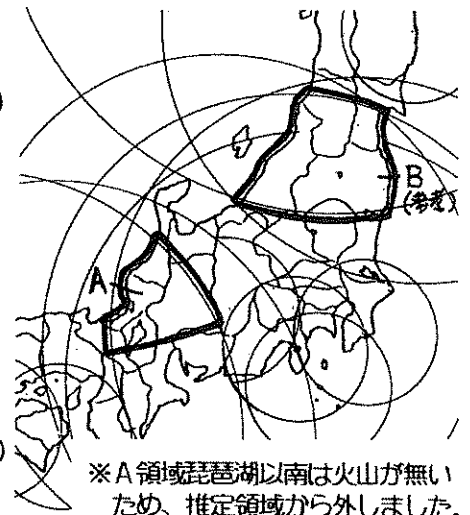
◆推定領域：右図A領域太線領域内付近  
※やや火山帯に近い領域の可能性有  
(可能性低いが影響局誤認の場合＝B領域)

◆推定規模：M7.8±0.5  
※群発的地震活動の可能性も有

◆推定時期：前兆終息を確認して推定報告  
現状認識での考え易い可能性＝9/23±3  
※9/21迄に前兆終息しない場合は更に再考

◇推定地震種：震源浅い陸域地殻  
◇推定発生時刻：AM9:00±1 (or PM6:00±3)  
(※前震があった場合には推定時刻は無効)

Copyright 2016 YSBO八ヶ岳南麓天文台



※A領域琵琶湖以南は火山が無い  
ため、推定領域から外しました。